

いては、順調に推移していましたが、補助金として計上していました能代山本医師会病院の増築工事が翌年度の完成となるため、この補助金については繰越としています。

◆大雪に伴う状況及び被害等について

今冬の大雪に伴う状況については、12月8日の除雪車の初出動に始まり年末年始には連日の降雪があり、除雪車は毎日出動しております。1月30日の積雪深が102cmに達したことから雪害対策警戒部を設置し、その後2月25日には136cmとなり、雪害対策本部に切り替え、生活関連道路や歩道の除排雪・情報の収集や提供活動等を行い、住民の安全を重視した雪害対策に努めて参りました。今日現在、住家の全壊・半壊等の被害は報告されていませんが、人的被害については、はしごからの転落による雪下ろし作業事故1件で、1名が負傷しています。

◆特別養護老人ホーム藤里のショートステイ増床計画について

特別養護老人ホーム藤里については、介護サービスのうち、ショートステイの利用者が今後も増え、町外の施設に依存する割合が高まることが予想されていたので、第5期の介護保険事業計画にショートステイの増床計画を盛り込んだところであります。このことについては、社会福祉法人「秋田虹の会」より、特別養護

◆平成25年度産米の生産数量目標について

昨年暮れに、県から市町村別の目標数量が示されています。

平成25年度産米の生産数量目標は平成26年までの需要の見通しや、これまでの需要実績などから、791万tに設定されました。この数量は前年と比べ、率で0・2%、生産数量で2万tの減となっています。

こうした中、秋田県への生産数量目標の配分数量は、前年に引き続き増量となり面積換算で490ha、生産数量目標は、2,790t増の446,430tとなりました。

これは、県産米販売戦略会議を立ち上げて、県産米の販売に努めたことや政府備蓄米として売り渡された数量の一部が、県産米の販売実績としてカウントされるなど、県産米の販売が好転したことなどによるものです。

藤里町への生産数量目標の配分数量は、前年より7t多い2,618t、作付面積では、1・27ha増え、474・28haの配分となりました。これに基づいて、各農家への25年度産米の配分は、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象に同率での配分を行うこととし、2月20日に仮配分を行ったところであります。

12月に政権が変わったことから、農業

政策の変更も予想されましたが、平成25年度については変更の情報は入っていません。

なお、「農業者戸別所得補償制度」は、「経営所得安全対策」に名称が変更されることになりましたが、交付金の支払いについては変更はありません。

また、国の農地利用集積に対する10a当たり2万円の交付金や、県の5千円の交付金についても引き続き交付されることになっています。

平成23年度から実施した農林業振興特別対策事業は、来年度で3年目となりますが、振興作物の作付等、まだまだ事業を活かしていきたくない部分がありますので、農家の意向を尊重しながら作付けの拡大により農業所得が向上するように、今後も取り組んでいきます。

◆機構改革について

行政改革については、常に検討を加えていかなければならないことは、これまでも申し上げてきたところですが、事務の合理化を図る観点から、これまで会計管理者の権限に属する事務を分掌させるために設置していました会計課を廃止し、町長部局として新たに税務会計課を設置するものです。



歳出のグラフ（左…目的別、右…性質別）

【予算規模：29億9,700万円】

（単位：万円）

目的別

性質別

